

平成24年1月14日(土)、厚木市文化会館小ホールで、「市民協働・男女共同参画講演会～力を合わせて未来を拓こう～」を開催しました。

住田裕子さんを講師に迎え、弁護士として、また、自身が代表を務めるNPO法人長寿安心会の活動を踏まえ、地域での人との繋がりの大切さ、高齢者が安心して暮らしていくために必要なことなどを、時にはユーモアを交えながらお話いただきました。

- 長寿社会を安心安全に暮らせるために3つの“きん”が必要であり、
- ①金(お金の使い方、騙されないこと)
 - ②筋(筋力・体力をつけ、健康であること)
 - ③近(ご近所との繋がりを持つこと、地域でのネットワークを作ること)
- 特に“近”が大事と、熱くお話しされました。

また、高齢者だけでなく、人が社会で生きいきと生活するのに最も大切なことは対人関係能力であり、いかに人との繋がりを大切に思えるか、喜び、痛み、悲しみを共感できるかが大事であるとも述べられました。

また、東日本大震災で被害を受けた被災地へ、ボランティアとして参加された2人の方から活動の事例発表をしていただきました。

- 堅持 麗子 さん
- 飯島 由紀 さん(写真右下)

来場者アンケートの紹介

- 「これからますます増えていく高齢化社会を生き抜いていく方法、人とのつながり、社会とのつながりを考えながら関わり合っていくことを改めて感じました。」(60代女性)
- 「差別しない、共感性の重要性をわかりやすく話されて、共感を持つことができました。」(60代男性)

住田裕子さん講演会



あつぎパートナーセンターだより No.132

私たちがめざす男女共同参画社会とは、「すべての」人が尊重され、多様な生き方を選択することが可能で、家庭、地域、職場などにおいて個人の能力を十分に発揮することができる社会です。

ハあも二い

○厚木市職員に聞きました！ 男女共同参画に関するアンケート



パートナー川柳コンテスト

今年で3度目となる「パートナー川柳コンテスト」が、パートナーフェスタ2011の一企画として実施されました。身近で大切な存在であるパートナーをテーマにした川柳を募集した結果、実にバラエティに富んだ221作品が集まりました。今年も、新たにスマイル賞を設け小中学生からも応募をいただきました。なお、好評だった昨年に引き続き、今年も入選された10人の方には、賞状と共に、副賞としてあつぎ食ブランド「あつぎOECフード認定品」を贈りました。

パートナー賞 サンクトガーレン「地ビール」& 厚木食肉商業協同組合「豚漬け」
スマイル賞 厚木ハム「ウィンナー詰め合わせ」

募集期間 平成23年9月1日～10月12日
表彰式 平成23年11月5日
審査 パートナーフェスタ実行委員会
審査協力 厚木市川柳協会

～応募いただきました多くの皆様 ありがとうございます～

- | | | | | | | | | | | |
|------------------------------|-----------------------------------|--------------------------|-------------------------|----------------------------|---------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|----------------------------|-----------------------------|
| 背が伸びて 川でなくなる ねるかたち
山下実優さん | 今日もあしたも たのしいのは みんなといふから
熊坂 光さん | 宝物 白いふでば「ぼくの仲間」
熊坂青さん | 学校の机が今日も 待っている
熊坂宙さん | ケンカした でもまた遊ぶ 友達だ
岡本絵里さん | 【スマイル賞】 | 気がつけば いく坂三えて 二人たひ
増田保夫さん | 聴こえない 貴方の耳の 杖になる
長澤由美子さん | お互いの 気持ちを添えて とともに生き
菅野正信さん | 「俺やるよ」その一言に 愛がある
神崎秀之さん | ケンカする 相手いるのが 幸せね！
岡本陽子さん |
|------------------------------|-----------------------------------|--------------------------|-------------------------|----------------------------|---------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|----------------------------|-----------------------------|

☆ 編集後記 ☆
今回の情報誌はあも二いを発行するにあたり、テーマは何にするか？と話し合った際、昨年の本号で特集をした「イクメン」のテーマから離れないようにという事になりました。そこで、男性も女性も仕事に！家庭に！地域に！バランスのとれた生活をしていくためには、ともに理解し合うことが必要なのではと考え、男女共同参画に関するアンケートから実際に職務に携わる方の意識を検証してみました。互いに理解し合うことこそ男女共同参画なのですから。

平成24年3月発行
編集 厚木市男女共同参画リーダー情報誌担当 (奥田・門倉・剣持・志村・高橋)
発行 厚木市協働安全部人権男女参画課 厚木市中町1-4-3
あつぎパートナーセンター
電話 (046)-225-2500
FAX (046)-223-8432
Email 2400@city.atsugi.kanagawa.jp

厚木市の職員に聞きました 男女共同参画に関するアンケート結果から！

♪ともに理解しあうことが男女共同参画♪
男女一人ひとりが輝く生活を送るために

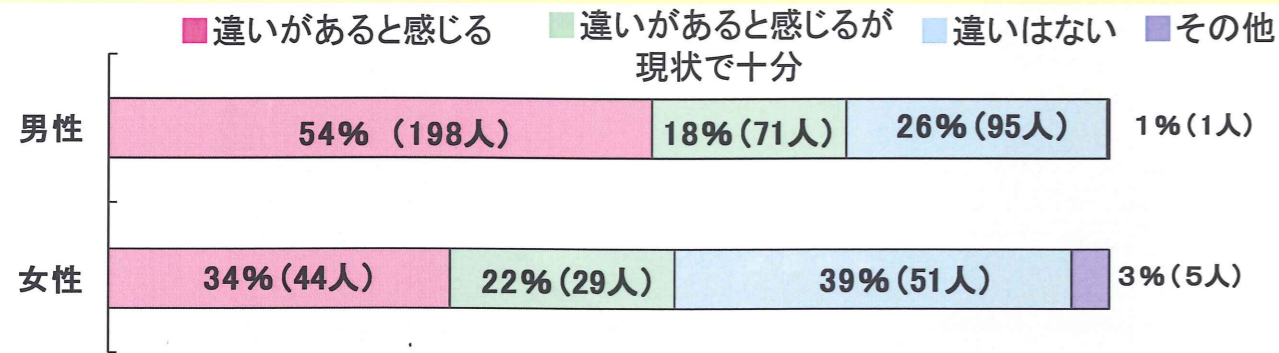
男女共同参画社会の実現を目指して、平成15年3月に「厚木市男女共同参画計画」を策定し、実現に向けて様々な取組をしてきました。

では、現在、男女共同参画への意識はどのようのでしょうか？

今回は、「男女共同参画について」、市職員を対象に実施したアンケートの結果を基に、職務に携わっている方の男女共同参画への意識を検証し、どうあるべきかを考えてみました。

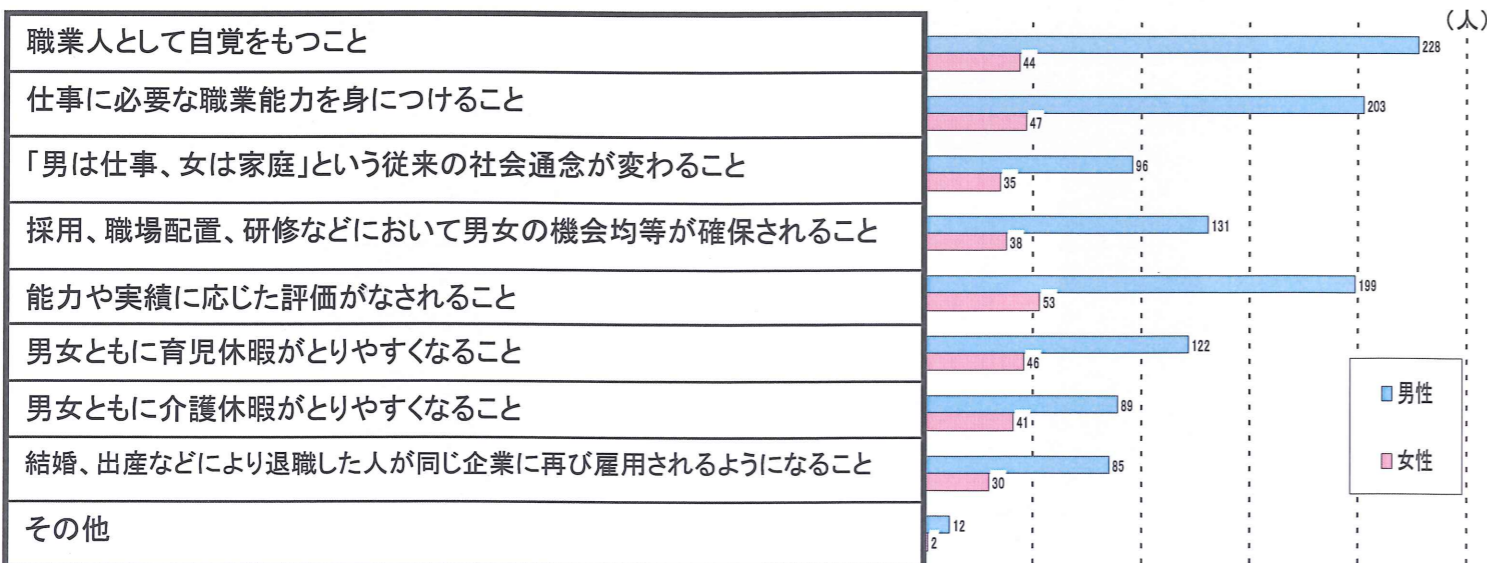
調査対象 厚木市職員(2,030人)
調査期間 平成23年9月2日～9月26日
回答数 494人
(男性365人 女性129人)
回答者年代
男性 20代 31人 30代 95人 40代 121人 50代 115人 60代 3人
女性 20代 16人 30代 47人 40代 50人 50代 16人 60代 0人

Q 事務分担に関して、あなたは男性と女性で業務の割り振りに違いがあると感じることはありますか

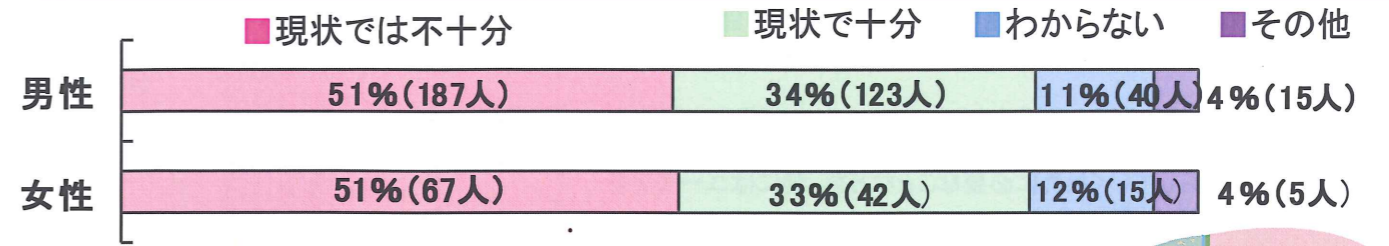


違いがあると感じている意見として、「定型的な業務を担当している」、「外勤や相談窓口以外の仕事を担当」など、平等性に欠けるといったものが多かった。

Q あなたは男女がともに職場で能力を発揮するにはどのようなことが重要だと思いますか。(複数可)

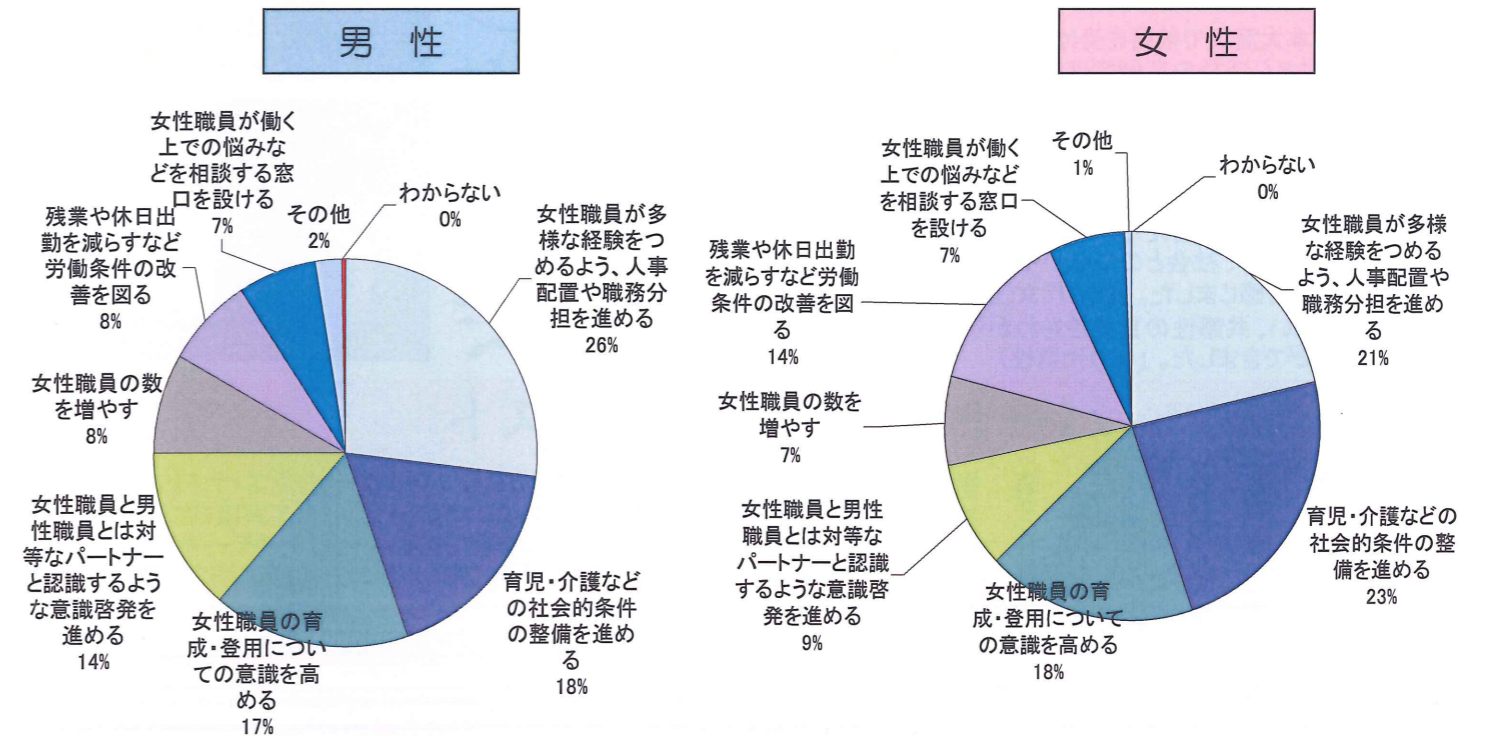


Q あなたは女性職員の職域拡大・登用の現状についてどのように思いますか



男女ともに半数以上が女性職員の職域拡大・登用の現状について現状では不十分と思っている
⇒「現状で十分である」と思っている割合を大きく上回っている！

Q (上記質問で不十分と答えた方に伺いました) あなたは女性職員の職域拡大・登用を進めるにはどのようにしたら良いと思いますか(複数回答可)



男性・女性ともにほぼ同じ割合構成になっている。
⇒女性職員の職域拡大・登用を進めるのに必要なことは、多様な経験を積めるような人事配置や事務分担を進めるだけでなく、意識啓発も必要！

★★★アンケートの検証★★★

アンケートの結果から、男女平等であるべきとの意識は男性も女性も強く持っていることがわかりました。その一方で、事務分担に対する男性と女性の意識の違いがあること。また、女性職員の登用・職域拡大に関する意識は、男女とも現状では不十分と感じていることがわかりました。

私たちが目指す男女共同参画社会とは、「すべての」人が尊重され、様々な分野で個人の能力を発揮することができる社会です。
ただ、仕事内容や登用率を同じにするのではなく、お互いを理解し、性別にとらわれず、個々の適性に応じた配置が必要だと考えます。そしてそれは、職場だけではなく、**みなさんも、家庭・地域・職場において、もう一度考えてみませんか。**